

2018年8月30日

エーティコミュニケーションズ株式会社
スカパーJSAT 株式会社

超小型平面アンテナ『Satcube Ku』による 衛星通信実験に成功

エーティコミュニケーションズ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：小松原 眞貴雄、以下エーティコム）とスカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治、以下スカパーJSAT）は、衛星アンテナメーカーの Satcube AB 社（本社：スウェーデン、CEO: Jakob Kallmér、以下 Satcube 社）が開発した超小型平面アンテナ『Satcube Ku』（サットキューブ ケーユー）による衛星通信実験を8月28日（火）に実施し、成功した事をお知らせいたします。

今回の衛星通信実験に使用した『Satcube Ku』は超小型軽量の平面アンテナです。ラップトップPC大のサイズ※¹、重さ約8kgという持ち運び負担の小さいモデルでありながら、定格出力50Wのアンプ、通信用モデム、Wi-Fi機能など、通信に必要な機器を全て内蔵し、この1台で衛星の捕捉から実際の衛星通信ができるように設計されています。今回、スカパーJSATの通信衛星（JCSAT-4B）を使った衛星通信実験では、送信・受信ともに15Mbps※²を超える通信速度での通信を『Satcube Ku』で実現いたしました。

衛星通信は、災害時・非常時などに地上回線が遮断された場合の最後の通信手段として有効である一方、Kuバンドを利用する際には直径1メートル程度のアンテナが必要であるため、平常時のアンテナ保管場所や、利用時の展開場所、電源の確保などが課題でした。『Satcube Ku』ではスペースや電源の課題を解消するだけでなく、ユニークな衛星捕捉機能により専門知識のない方でも容易に衛星を捕捉でき、数分程度で衛星通信を開始することができます。操作・設定面での簡易さと優れたポータビリティにより、衛星通信が従来以上に多くの場面や場所で利用いただけるようになります。

エーティコムは、Satcube社と日本国内の販売代理店契約を締結しており、国内顧客向けに『Satcube Ku』のデモンストレーションを開始いたします。スカパーJSATは、エーティコムが行う顧客向けデモンストレーションに地上設備等を提供し、エーティコムに協力いたします。エーティコムとスカパーJSATは、衛星通信需要のすそ野拡大をめざし、協力して取り組んでまいります。

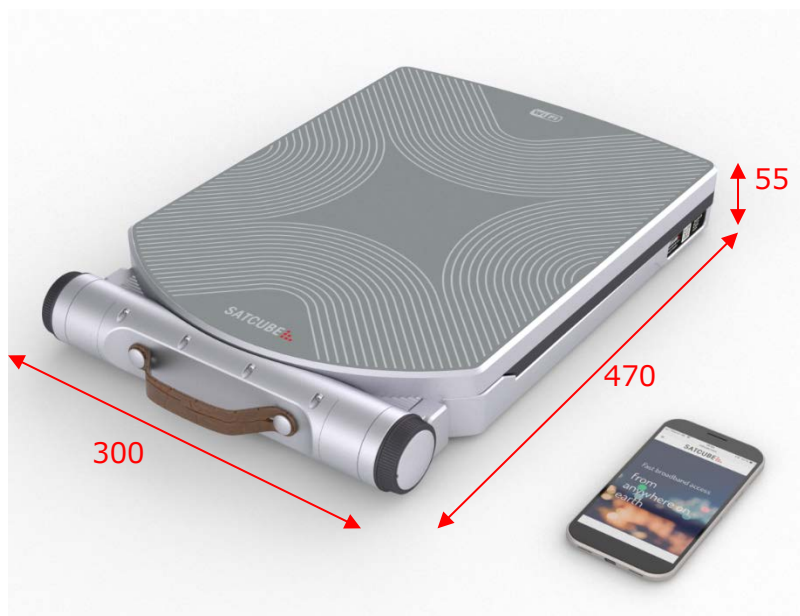
※¹ 折り畳んだ状態でのサイズです。

※² 実験での通信速度です。実際の通信速度は、ネットワーク構成、所要回線品質、利用衛星、ピーム、運用場所等の利用環境に依存します。

《Satcube Ku仕様》

- ・サイズ : 470mm×300mm×55mm
- ・総重量 : 8kg (本体)
- ・バッテリー運用時間 : 1.5時間 (映像伝送を行う場合)
※AC/DC 電源使用可能
- ・対応周波数帯 : Tx 13.75—14.50 GHz Rx 10.95—12.75 GHz
- ・最大 EIRP : 約 46 dBW
- ・G/T : 9 dB/K 以上
- ・販売価格 : 未定

《Satcube Ku 外観》



【エーティコミュニケーションズ株式会社 概要】

代表者 : 代表取締役会長 浅野 武夫
代表取締役社長 小松原 眞貴雄

設立 : 1994年9月13日

資本金 : 96,500千円

本社所在地 : 東京都江東区2-14-4

事業内容 : 衛星通信機器の輸入販売、衛星中継車の設計・製造及びコンサルティング等を行う衛星通信のエキスパートです。顧客は官公庁、通信会社、放送会社など多岐に及びます。

URL : <http://www.bizsat.jp/index.html>

【スカパーJSAT株式会社 概要】

代表者 : 代表取締役 執行役員社長 高田 真治

設立 : 1994年11月10日

資本金 : 50,083百万円

本社所在地 : 東京都港区赤坂1-8-1

事業内容 : 放送と通信融合のトップランナーとして、アジア最大の17機の衛星を保有する、有料多チャンネル放送と衛星通信を提供している国内唯一の事業会社です。加入者数約300万を誇る日本最大の衛星有料多チャンネルプラットフォーム「スカパー！」を通じて多種多様なエンタテインメントをお届けし、日本・アジア・オセアニア・ロシア・中東・ハワイ・北米をカバーする衛星通信サービスは、「社会の安心・安全・便利」を支えています。

URL : <https://www.sptvjsat.com/>

以上